

新型コロナウイルス感染症の感染段階における授業等対応表

感染段階		第1段階	第2段階	第3段階
		現時点と同様の状況で推移した場合	岐大構成員・式典委託業者等・イベント参加者等の感染が確認された場合	学内での2次感染者の発生や岐阜市内で感染者数の急増など、学内で感染が蔓延する恐れがある場合
要点		学生及び教職員間の濃厚接触を避けること	感染拡大を封じ込めること	感染拡大を終息させること
授業	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通常通り授業を行うことを基本としつつも、感染拡大防止措置等を講じる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶各教室(少なくとも建物の各フロア)に消毒液を設置し、正しい使用方法を掲示して啓発する。</li> <li>▶清掃業者に、アルコールによる環境の清拭を徹底させる。</li> <li>▶学生に対して手洗いや咳エチケットなどの感染予防措置を周知徹底する。</li> <li>▶授業中においても定期的に教室の換気を行う。</li> <li>▶4月中はディスカッション形式の授業方法を避ける。</li> <li>▶各授業の冒頭に授業担当教員から感染予防に関するアナウンスを行う。</li> <li>▶可能な限り間隔を開けて着席させる。</li> <li>▶トイレに石鹸やハンドソープなどを設置する。</li> </ul> </li> <li>●e-Learning等在宅での教育方法を検討する。</li> <li>●感染者が発生した場合の授業等の保障方法について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染者を治癒するまで出席停止にする。</li> <li>●濃厚接触者のうち保健所からPCR検査が必要と判定された者は、検査結果が判明するまで自宅待機する。</li> <li>●濃厚接触者のうちPCR検査が不要と判定された者及びPCR検査の結果が陰性である者は、その後毎日の体温測定など健康観察自己管理に努め、手指衛生の遵守強化および常時のマスク着用を条件に出勤・登校可能とする。</li> <li>●感染者が過去2週間以内に出席していた授業をその後2週間休講にする。</li> <li>●感染者が過去2週間に出席していた授業の受講者の体調を2週間観察する。</li> <li>●出席できない授業等の保障を実施する。</li> <li>●可能な範囲でe-Learning等在宅での教育方法を実施する。</li> <li>●学部/学科単位など、部分的な休校を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学あるいは特定の集団・組織において、感染の蔓延が終息するまで2~4週間を目途に休校とする。</li> <li>●e-Learning等在宅での教育方法を実施する。</li> </ul>
	講義	●受講者数が、50名以上あるいは教室収容人員の60%以上の講義を対象として、密集緩和措置を検討する。	●受講者数が、50名以上あるいは教室収容人員の60%以上の講義を対象として、密集緩和措置を実施する。	
	演習	●1グループあたりの人数を少なくする努力を行う。	●1グループあたりの人数を少なくする措置を実施する。	
	実験	●1グループあたりの人数を少なくする努力を行う。	●1グループあたりの人数を少なくする措置を実施する。	
	実習	●実習先の対応方針に合わせて、実習科目の開講を柔軟に対応する。	●実習先の対応方針に合わせて、実習科目の開講を柔軟に対応する。	
	●岐阜バスが路線バス(岐阜大学・病院線及び岐南町線)の運行を停止した場合は、運行再開まで全学で休校とする。			
課外活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>●不要不急の活動は中止</li> <li>●閉鎖空間で多人数が食事や会話をする活動は中止</li> </ul>	●原則中止	●中止